

2日後の8日、先の現場から約370メートル離れた国道交差点。停車中の車に、さび片がフロントガラスに落下し、傷ができました。いずれも被害者からの通報で判明しました。

事故は北海道議会でも取り上げられました。道側は13日、JR北から「報道発表と同時に報告を受けた」と答弁。日本共産党道議

命を預かる鉄道会社
が施設からの落下物や
不通になつた鉄路を長
期間放置する。あつ
てはならない深刻な事
態が、JR北海道（JR
R北）で起つています。
名越正治記者

団（真下紀子団長）の
求めに応じ、道は、J
R北が作成した資料を
明らかにしました。

全国の鉄道施設から
落下物の件数を各JR
に問い合わせました。
落下物の件数は実に1
52件に上りました
が、JR北は千歳の高
架橋からのコンクリート
20キロの落下1件を報告
しただけでした。当時
は、JR北の鉄道事業
の重要な部門すべてで事

故やトラブルが続発していました。レール幅の広がりなど異常の放置、検査データの改ざん、脱線、車両火災…。千歳の高架橋の近くに住む河瀬由美子さん(73)は話します。「1年ほど前、コンクリートが落ちていたのでJRに連絡すると高架から

「237キロを「単独では維持困難」と路線廃止計画を発表してから1年余。廃止対象とされた路線で、「鉄路を残そう」とより広い人たちが新たに運動に立ち上がっています。

か町の商工会や観光協会、町民が「日高線の未来を考える会」をま成しました。

ぼう」と熱心に討論していました。
分割・民営化から20年。“市場まかせ、一
間まかせ”的やり方を押し通した国が責任を
持つて、JRの鉄道運送と安全を守ることが要
求されます強く求められています。

JR北海道 安全軽視が深刻

事故報告遅く、住民通報にもずさんな対応



調査する畠山前衆院議員(右から2人目)と共産党の北海道議ら=11月21日、札幌市厚別区

鉄道施設からの落下物(2017年)

2月			
5日	小樽市花園	排水管2個	最大約7キログラム
13日	千歳市美々	天井パネル1枚	約200グラム
14日	山越郡長万部町	雨樋配管1個	約300グラム
27日	札幌市中央区	コンクリート片14個、 ボルト2個	最大約680グラム
3月			
16日	札幌市厚別区	コンクリート片3個	最大12グラム
28日	札幌市厚別区	コンクリート片3個	最大7グラム
30日	旭川市7条通	排水管1個	約8.2キログラム
4月			
13日	白老郡白老町	外壁材1枚	約10キログラム
5月			
7日	旭川市7条通	コンクリート片1個	約18キログラム
10日	札幌市厚別区	コンクリート片15個	最大約15グラム
11日	勇払郡むかわ町	鋼材1個	約1.8キログラム
6月			
9日	札幌市手稻区	転落防止柵1枚	約18キログラム
28日	上川郡鷹栖町	モルタル片6個	最大約55グラム
7月			
5日	亀田郡七飯町	木片1個	約700グラム
8月			
2日	札幌市白石区	木片1個	約2キログラム
8日	札幌市中央区	ボルト・ナットと 座金計2個	約130グラム
同	上川郡剣淵町	番線表示看板1個	1.47キログラム
9月			
21日	白老郡白老町	モルタル片4個	最大約30グラム
11月			
6日	札幌市厚別区	コンクリート片1個	約2.5キログラム
8日	札幌市厚別区	さび片1個	約10グラム

ヨシケリ など 猪下年 20件

ツトが張つてあります
が、歩道上はほつた
かしでした。